

一般会計 311億

前年度比 35億

歳出の性質別経費の内訳

歳出を経費ごとに経済的な性質を基準として分類したものを「性質別経費」といいます。

令和6年度の歳出を性質別経費で分類すると次のようになります。

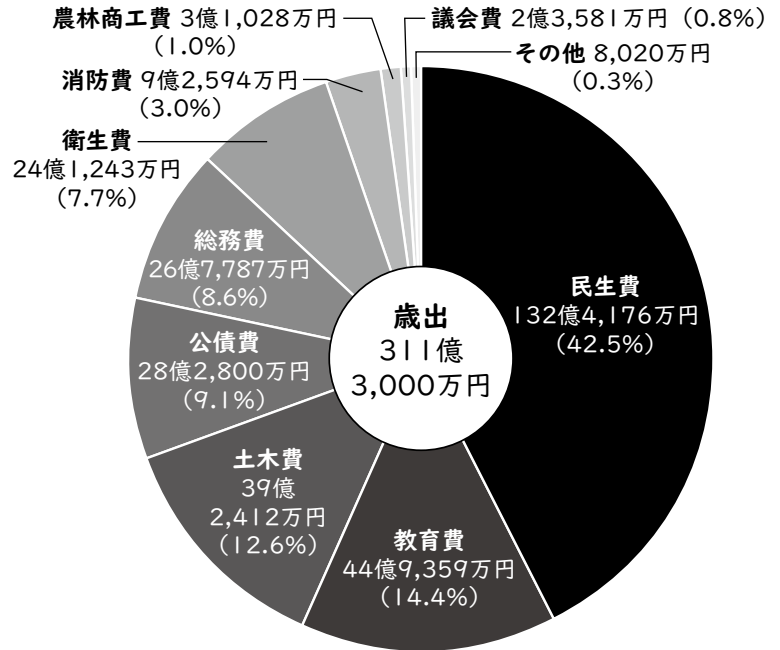
義務的経費	扶助費	78億5,475万円
	人件費	45億5,425万円
	公債費	28億2,800万円
消費的経費	物件費	45億4,450万円
	維持補修費	2億1,843万円
投資的経費	普通建設事業費	46億7,353万円
その他の経費	補助費等	32億7,957万円
	繰出金	29億4,365万円
	積立金	1億8,212万円
	予備費	5,000万円
	貸付金	120万円
合計		311億3,000万円

人件費、扶助費、公債費の義務的経費については、前年度と比較して12億1,606万円(8.7%)の増加となっています。公債費は市債の発行抑制及び過去に発行した市債が順次償還を迎えたことにより、1億5,000万円(5.0%)の減少となっています。一方、扶助費は障がい福祉費の増などにより、8億8,536万円(12.7%)の増加となっています。

消費的経費は3億484万円(6.8%)、投資的経費は15億6,738万円(50.5%)の増加となっています。

*数字は各項目で四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります

〈歳出〉



目的別の歳出については、前年度と比較して、土木費で9億4,087万円(31.5%)、総務費で4億1,926万円(18.6%)、民生費で17億6,298万円(15.4%)、教育費で4億3,278万円(10.7%)の増加となっています。

一方、議会費で1,350万円(5.4%)、公債費で1億5,000万円(5.0%)の減少となっています。

【歳出編】予算の使い道

民生費

保育所の運営費や子ども医療、高齢者などの福祉に使う経費

教育費

小・中学校や図書館の運営などに使う経費

土木費

道路や河川、公園の整備などに使う経費

公債費

国や銀行などから借りたお金の返済に使う経費

総務費

職員や施設に対する全般的な管理などに使う経費

衛生費

ごみ処理、病気予防などに使う経費

消防費

消防活動、防災関係に使う経費

農林商工費

農業の振興、中小企業の応援、就労に関する事業などに使う経費

議会費

市議会の運営に使う経費

